新人・配転者の方にオススメ！情報システムセキュリティ入門～システムで守る情報資産～ 【オンライン録画配信＋ライブ】（4121099）

本セミナーでは、知識学習と演習を取り扱うことで、ユーザー企業が直面する情報システムセキュリティに関する課題への取り組み方や、 情報を保有する本質的脅威と求められる対策を理解することができます。演習は課題が存在するユーザー企業の情報システムを題材とすることでより実践的に学ぶことができます。

開催日時	2021年10月21日(木) 録画配信開始（～11月2日（火）録画配信終了） 2021年10月22日(金) 2021年10月23日(土) 2021年10月24日(日) 2021年10月25日(月) 2021年10月26日(火) 2021年10月27日(水) 2021年10月28日(木) 13:00-16:00ライブセミナー
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価　共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
DXリテラシー	How(データ・技術の活用)：留意点
講師	安田良明 氏 （株式会社ラック　事業統括部 担当部長 ） 1996 年 情報通信メーカーへ入社。システムズエンジニアとして、ナショナルセキュリティ分野に関する情報システム構築、 セキュリティオペレーションセンター構築を従事する傍ら、2005 年から2007 年に掛けて、米国の情報保証技術の調査研究を行う。 2009 年 株式会社ラックに入社。サイバーリスク総合研究所の研究員として，研究成果の製品化、 特定用途システムへの転用提案や情報セキュリティ教育、人財育成などを担当。 2010 年 ナショナルセキュリティセンターを設立し、初代センター長として就任。 社会システムが期待する情報保証技術の調査研究を行うと共に、国家の安全保障を担うシステムに対し、 自社の研究成果を提供し、社会セキュリティの確保に貢献する活動を行う。 2011 年 内閣官房情報セキュリティセンターセンター員として、 情報セキュリティ対策の推進に関する専門的、技術的な事項についての支援業務を行う。 2013 年 S&J株式会社へ入社。 組織の業務とITの状況を可視化し、トップダウンのガバナンスコンサルタントを行う。 インシデントが発生したお客様に対して、インシデントレスポンスやデジタルフォレンジックを行い、ボトムアップからの支援も担当。 2019 年 株式会社ラックに入社。 SDGs 達成に必要となる社会環境を予測し、 産業システム全般に必要となるセキュリティソリューションの企画開発を行う。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	情報システム部門若手・配転者の方、システム企画担当 初級
開催形式	録画視聴・講義・グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ＊キャンセル規定について、録画開始日を開催日といたします。
ITCA認定時間	5

主な内容

■受講形態

【２パート構成】

オンライン録画視聴約2時間とライブセミナー約3時間の構成です。

１．オンライン録画視聴

※参加時のご注意について、本ページ下部にご案内いたします。お申込の前に必ずご確認ください。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

録画配信期間 ：2021年10月21日～2021年11月2日

ライブセミナー開催日：2021年10月28日13:00～16:00

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

２．ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】

■テキスト

録画配信日にマイページに掲載

==========
本当に必要な情報システムセキュリティ要件を定義する能力を身につけよう！
==========

情報通信技術の普及と発展に伴い、組織の業務活動を効率化するために、
様々な業務処理が情報システム化されるようになりました。

しかし、情報システムを導入することで、業務システムが効率化される反面、
情報システム特有の課題である情報セキュリティの問題が発生するため、
情報セキュリティ対策に取り組んでいく必要があります。

情報セキュリティの問題は組織特有の問題のため、ベンダー任せの曖昧な情報セキュリティ要件ではなく、
本当に自分の組織が必要としている情報システムセキュリティ要件を定義する能力が、ユーザー企業側に求められます。

∴‥∵‥∴‥∵‥∴‥∴‥∵‥∴‥∵‥∴

本セミナーでは、知識学習と演習を取り扱うことで、ユーザー企業が直面する
情報システムセキュリティに関する課題への取り組み方や、
情報を保有する本質的脅威と求められる対策を理解することができます。
演習内容は、課題が存在するユーザー企業の情報システムを題材とすることでより実践的に学ぶことができます。

∴‥∵‥∴‥∵‥∴‥∴‥∵‥∴‥∵‥∴

<<内容>> ※変更する場合がございます。
コースは録画配信とライブ受講の２つのパートに分かれています。

【録画配信】
録画配信された動画を視聴することで学習いただきます。＜約2時間＞
あわせて個人ワークの演習課題を提示します。
ライブセミナー日までにご自身で演習について取り組んでください。

【ライブセミナー】
対話型オンライン形式でライブセミナーを実施します。＜約3時間＞
個人ワークの発表、講師からのレクチャー、受講生同士の意見交換（グループワーク）、質疑応答を行いながら、理解を深めます。

1. 2020 情報セキュリティ事故事例
2. 情報システムの導入
3. 情報システム導入後の懸案事項
4. 情報セキュリティ事故の事例
5. 情報セキュリティ事故の特徴
6. 情報システムセキュリティの原則
7. 情報システムセキュリティの実装におけるユーザー企 業の役割と責任
8. 情報システムセキュリティの問題点を考える（ライブ：ワークショップ）

＜受講者の声＞
・丁寧で、わかり易い講義であった。発表方式だったので、いろいろな参加者の意見を聞けた事が非常に有意義だった。
・ディスカッションとそれに対するレスポンスをいただけたことで、改善すべき点などがよく理解できた。
・担当講師の方が一人ひとりの意見を聞き、フィードバックをいただけたので持ち帰れる情報の質が高かった。
☒　　現在困っていることに対する具体的な策をご提示いただけた。
・初心者の目線に合わせた話し方・資料を提供いただいた。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
＜＜録画配信＋ライブご受講に際してのご注意＞＞
・事前に録画配信のあるライブセミナーについては、録画配信を受講された前提となっております。

・視聴期間内に、ご自身のマイページから【動画視聴】ボタンよりご視聴ください。
・視聴期間内は、何度でもご視聴いただけます。
・申込後に視聴環境を確認するためのテスト動画がございますので、ご確認をお願いします。
・ご受講に必要なPC等のハードウェアや通信環境は、ご受講者様ご自身でご用意ください。
・動画や画像、音声の撮影、録画、録音は一切禁止とさせていただいております。
・視聴期間の延長や変更、講義に関する質疑応答、はお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

＜＜キャンセル規定＞＞
２パート構成セミナーについては、録画配信日または事前学習配信日を開催日といたします。あらかじめご了承ください。
・土日祝を含む開催７日前から前々日まで…参加費用の50%
・土日祝を含む開催日前日および開催当日（欠席）…参加費の全額
※受講権利チケット利用にてお申し込みの場合
・土日祝を含む開催７日前から開催当日…参加費の全額（必要枚数）